

# 令和7年度入学試験問題 後期 一国語

名古屋経営短期大学

## ※注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 携帯電話は電源を切って保管すること。
3. 試験の内容に関する質問は受け付けない。
4. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁、乱丁または解答用紙の汚れなどがあった場合は、手を挙げて、試験監督に知らせること。
5. 解答用紙には、氏名、受験番号を下の（例）のように記入しなさい。  
解答用紙は、受験教科ごとに決まっています。選択教科欄を確認すること。

|                |   |
|----------------|---|
| 名古屋経営短期大学      |   |
| 令和7年度入学試験 解答用紙 |   |
| 選択教科           | <div>国語</div> <div><div><div></div><div></div></div><div>国語英語</div></div> |
| 氏名             | <div>〔 菊武 さくら 〕</div> <div>受験番号</div> <div>S I 9 9 1 0 0 A</div>          |

6. 解答は各設問で指定された解答欄に記入すること。
7. 解答は解答用紙の選択肢番号に当たる ☐ を黒く塗りつぶすこと。（マークする）  
☐ の塗りつぶし方（マーク方法）は、下記の例を参照すること。

|     |  |
|-----|--|
| 良い例 | <input type="checkbox"/>   |
| 悪い例 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |

8. マークを消す場合には、消し残りがあると、マークされているとみなす場合があるので注意すること。

承諾番号 25-2335  
朝日新聞 20241113 （天声人語）子どもが減り続ける  
朝日新聞社に無断で転載することを禁じる

名古屋経営短期大学  
令和七年度 入学試験問題 国語（後期）

一次の文を読んで、後の問いに答えなさい。（解答欄は【1】から【10】）

2024年に生まれる日本人の子どもの数が70万人を割り込みそうだ。この報道に触れたとき、にわかには信じられなかった。80万人を割ってから、まだ2年しかたっていない。「初の100万人割れ」で驚いた8年前から、出生数は加速度的に減っている。

厚生労働省が今月に発表した人口動態統計のアがいすうによると、今年1月～6月の日本人の出生数は32万9998人だった。前年同期比で6・3%減だ。「下半期も同じペースなら」がいぜんでいいではあるが、70万人を割る可能性は高い。

少子化対策は結果が出るまでに時間がかかる。（1）、政府はもう30年も政策を打ち続けているのに成果が上がらない。なぜなのかと考えつつ、中山徹著『地域から考える少子化対策』を読み、問題の根深さに改めて気づいた。

同書によると、現在の「異次元」を含む政府の対策のウしゆがんは、働く女性を増やすことにあったという。就業率は上がり、「それなりに成功」した一方で、労働環境は改善されなかった。非正規雇用や低賃金、働き方の意識、東京一極集中といった問題だ。

（2）、人手不足の職場だと、気兼ねせずに産休や育休が取れない。意識が古いままの上司には、時短勤務や残業エめんじよを申請しにくい。社会のすみずみまで変える覚悟がなければ、効果的な政策にはならない。

ショックを受けたが、「70万人割れ」は日本がオいたった現実でもある。カかんようで、だれもが将来にキてんぼうを持てる社会。そんな環境で子どもは生まれ、育って欲しいと思う。

「朝日新聞2024年11月13日 天声人語」より

問一 文中の傍線部ア～キに該当する漢字を①～④のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

|   |       |       |       |       |           |
|---|-------|-------|-------|-------|-----------|
| ア | ① 外数  | ② 慨数  | ③ 概数  | ④ 該数  | （解答欄は【1】） |
| イ | ① 前程  | ② 前提  | ③ 全停  | ④ 全提  | （解答欄は【2】） |
| ウ | ① 種眼  | ② 朱眼  | ③ 取眼  | ④ 主眼  | （解答欄は【3】） |
| エ | ① 免除  | ② 免除  | ③ 面徐  | ④ 面除  | （解答欄は【4】） |
| オ | ① 到った | ② 至った | ③ 格った | ④ 造った | （解答欄は【5】） |
| カ | ① 感容  | ② 感要  | ③ 寛要  | ④ 寛容  | （解答欄は【6】） |
| キ | ① 展望  | ② 天望  | ③ 点望  | ④ 転望  | （解答欄は【7】） |

問二 文中の(1)～(2)に当てはまる言葉として最も適当なものをそれぞれ①～④の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- |     |   |      |   |      |   |      |   |      |           |
|-----|---|------|---|------|---|------|---|------|-----------|
| (1) | ① | そこで  | ② | すなわち | ③ | つまり  | ④ | それでも | (解答欄は【8】) |
| (2) | ① | それとも | ② | やがて  | ③ | たとえば | ④ | ならびに | (解答欄は【9】) |

問三 この文の趣旨に近いものを次の①～④で最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

(解答欄は【10】)

- ① 働く女性を増やす対策。
- ② 加速度的に減少する日本の出生率の対策。
- ③ 非正規雇用者を増やす対策。
- ④ 意識が古い上司への対策。

二 次の漢字の部首をそれぞれ①～④から選び、記号で答えなさい。

(解答欄は【11】から【15】)

- |   |   |   |     |    |   |     |     |   |      |     |   |      |     |            |
|---|---|---|-----|----|---|-----|-----|---|------|-----|---|------|-----|------------|
| ア | 建 | ① | えん  | よう | ② | にん  | よう  | ③ | しん   | よう  | ④ | そう   | よう  | (解答欄は【11】) |
| イ | 慣 | ① | のぎ  | へん | ② | しめす | へん  | ③ | こぎ   | とへん | ④ | りっしん | べん  | (解答欄は【12】) |
| ウ | 独 | ① | しめす | へん | ② | こぎ  | とへん | ③ | りっしん | べん  | ④ | けもの  | へん  | (解答欄は【13】) |
| エ | 困 | ① | もんが | まえ | ② | はこが | まえ  | ③ | くにが  | まえ  | ④ | つつみ  | がまえ | (解答欄は【14】) |
| オ | 広 | ① | まだ  | れ  | ② | とだ  | れ   | ③ | やまい  | だれ  | ④ | がんだ  | れ   | (解答欄は【15】) |

三 次の熟語の空欄の□に当てはまる字を①～④のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

(解答欄は【16】から【23】)

- |   |      |   |   |   |   |   |   |   |   |            |
|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|------------|
| ア | 以心伝□ | ① | 身 | ② | 進 | ③ | 心 | ④ | 信 | (解答欄は【16】) |
| イ | □色兼備 | ① | 際 | ② | 才 | ③ | 采 | ④ | 彩 | (解答欄は【17】) |
| ウ | 千□万別 | ① | 左 | ② | 佐 | ③ | 差 | ④ | 査 | (解答欄は【18】) |
| エ | 疑心暗□ | ① | 起 | ② | 気 | ③ | 奇 | ④ | 鬼 | (解答欄は【19】) |
| オ | 臨機□変 | ① | 往 | ② | 応 | ③ | 王 | ④ | 央 | (解答欄は【20】) |
| カ | 表□一体 | ① | 離 | ② | 履 | ③ | 裏 | ④ | 利 | (解答欄は【21】) |
| キ | 危機一□ | ① | 初 | ② | 発 | ③ | 八 | ④ | 髪 | (解答欄は【22】) |
| ク | □廉潔白 | ① | 青 | ② | 正 | ③ | 清 | ④ | 精 | (解答欄は【23】) |

四 次のア～カのことわざの空欄に入る語として適切なものを①～④のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

(解答欄は【24】から【29】)

ア 塞翁がさいおう

- ① 鳥      ② 馬      ③ 犬      ④ 牛

(解答欄は【24】)

イ 泣きつ面に

- ① 蝶      ② 虫      ③ 蜂      ④ 猿

(解答欄は【25】)

ウ 一事が事

- ① 千      ② 百      ③ 十      ④ 万

(解答欄は【26】)

エ 一寸先は

- ① 園      ② 天      ③ 暗      ④ 闇

(解答欄は【27】)

オ 知らぬが

- ① 神      ② 仏      ③ 親      ④ 子

(解答欄は【28】)

カ 焼け石に

- ① 火      ② 油      ③ 水      ④ 湯

(解答欄は【29】)

五 次の作品の作者をそれぞれ①～④から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答欄は【30】～【34】)

ア「細雪」

- ① 川端康成      ② 石川啄木      ③ 宮沢賢治      ④ 谷崎潤一郎      (解答欄は【30】)

イ「伊豆の踊子」

- ① 川端康成      ② 石川啄木      ③ 宮沢賢治      ④ 谷崎潤一郎      (解答欄は【31】)

ウ「みだれ髪」

- ① 高村幸太郎      ② 与謝野晶子      ③ 樋口一葉      ④ 松尾芭蕉      (解答欄は【32】)

エ「たけくらべ」

- ① 高村幸太郎      ② 与謝野晶子      ③ 樋口一葉      ④ 松尾芭蕉      (解答欄は【33】)

オ「智恵子抄」

- ① 高村幸太郎      ② 与謝野晶子      ③ 樋口一葉      ④ 松尾芭蕉      (解答欄は【34】)

六 「多様化」と「労働力不足」の二つの語を使用し、六〇字以内で文章を作りなさい。なお、句読点も一文字と数える。 ※マークシートの裏に記入すること。

解答欄への記入は【34】までです。【35】～【40】には記入しないでください。